

文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会  
世界文化遺産特別委員会第3ワーキンググループ（第1回）  
議事要旨

1. 日時：平成25年5月28日（月）13：00～13：55
2. 場所：文部科学省3階 3F3特別会議室
3. 出席者：（委員）小風秀雅座長、鈴木淳委員、篠原修委員、西村幸夫委員  
（文化庁）河村次長、榎本記念物課長、小林世界文化遺産室長、本中主任  
文化財調査官、西文化財調査官、山下文化財調査官、市原文化  
財調査官、鈴木文部科学技官、鈴木参事官補佐  
（内閣官房）岩本参事官、淡野企画官
4. 議事要旨
  - ・ワーキンググループの議事開始にあたり、本会の審議が世界遺産一覧表への推薦候補に関する調査であることから、会議は非公開で行うこととし、後日、議事要旨を公開することとした（「文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会世界文化遺産特別委員会ワーキンググループの設置について」4による）。
  - （1）「富岡製糸場と絹産業遺産群」について、文化庁より現況が報告された。
  - （2）「国立西洋美術館（ル・コルビュジエの建築資産群）」について、文化庁より、推薦に向けた準備の進捗状況が報告された。
  - （3）「九州・山口の近代化産業遺産群」について、内閣官房より概要の説明があった後、質疑応答及び意見交換が行われた。その中で、①構成資産の選択、②登録基準の適用、③具体的な保全手法、④資産範囲の考え方等について、質疑と意見交換があった。
  - （4）「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」について、文化庁より概要の説明があった後、意見交換が行われた。その中で、平成25年4月19日に開催された世界文化遺産特別委員会における配付資料5-1で示されている課題のほか、大規模な鉄筋コンクリート施設の保全方法等について、質疑と意見交換があった。

